

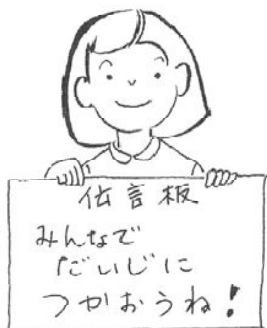
防災まちづくりの会 だより

池袋本町防災まちづくりの会では、5つの部会がそれぞれの課題を話し合い、その結果を本会にかけて協議を進めています。12月7日の第31回防災まちづくりの会では、4つの部会から次のような報告や提案がなされました。

●水利部会……進む民間井戸の整備

水利部会では、民間井戸の整備を進めています。今年度は1ヵ所整備をします。場所は池袋本町3丁目路地の中にある井戸です。

現在、整備の内容を持ち主とご相談しています。持ち主からは今の井戸の高さが使いやすいのでそのままにしてほしいと言われております。そこで井戸のまわりを舗装用のすべりにくいブロックで綺麗にし、路地の敷石も入れ換えるように考えています。また、消火活動用のバケツなどを入れる物入れを置かしていただくようお願いしています。3月末にはきれいになった井戸をお見せすることができる予定です。



●救援救護部会……町会防災部との連携

災害時に役立つ人材がしを行っている救援救護部会では、区の防災課職員にもご参加いただき、災害時の組織づくりを検討しています。その結果、災害時の活動の中心となる町会と、防災まちづくりの会の役割をきちんとしながら、より効率的な防災活

動ができるように組織を考える必要があるということ意見が一致しました。そこで、各町会に対して救援救護部会への参加を要請することにしました。1月ごろから合同の検討会を開催する予定です。

●防災センター・避難場所部会 ……地区の防災センターの整備

防災センター・避難場所部会では、地区内の公共施設を活用しながら、避難や災害時の活動に役立てられる施設づくりについて検討しています。地区内の公共施設には3つの学校を始め、公園や出張所、区営住宅などがあります。例えば救援センターに指定されている3つの学校への避難割り当てのバランスがよくないことや、地区の中でかたっていることなど、改善したいことは沢山あります。それらの問題点を地区全体として解決できないかを検討しています。

●広報部会……試行錯誤の発行

広報部会ではこの防災まちづくりニュースの紙面を充実させるために検討しています。より地域に密着した情報を、分かりやすく、誰でもが読みやすいようにお届けするにはどうしたらいいかを考えています。これまでB4版の簡易印刷やA3版4ページの新聞体裁のものなど、いくつかスタイルの違うニュースを発行しました。これは予算の制約や見やすさの検討から生まれた試行錯誤です。これからは、今回のニュースのようにA4版の大きさに統一して発行していく予定です。(小野)

新しい防災のかなめ…大戸防災課長就任



平成10年11月、豊島区の新しい防災課長に大戸国昭氏が就任しました。これは前課長の南保氏の退職による異動です。大戸氏は現在、教育委員会スポーツ振興課長を兼任していますが、主として防災を担当します。地域の安全を守るための組織をより強化し、防災対策等を推進し、区民の為になりたいと願っております。ご承知のように第十一地区においては地域防災組織の本部長を勤めていらっしゃいます。今後の活動に期待したいと思います。(福澤)

町会訪問② 池袋本町親和町会 泉谷会長を訪ねて 行事をとおして交流・信頼関係を

池袋本町親和町会会長の泉谷さんは、青森県のご出身で、昭和35年に上京されて以来、現在の電気工事のお仕事に就かれて、奥様とお二人でお住まいでいらっしゃいます。泉谷さんは、お仕事の傍ら、98年12月末現在、下板橋駅前特別区域を含めて635世帯を、10部の地域に分けて束ねる会長として、平成8年に就任されました。泉谷さんは、「町会として取り組むさまざまな行事は、顔なじみになって、交流が深まれば、あってほしくない災害時にも、まず安心出来るし、そこでの体験は知恵として活かされる」とおっしゃいます。

昨年11月1日に行なわれた北区・中央公園まで避難訓練には90名近くの会員が集り、道中、炊き出しなどをやって、参加者が避難体験をしながら、

交流を深めたそうです。この行事は、婦人部と青年会のみなさんの積極的な協力で、前の年より参加者が増えたということです。また、12月の「ちびっ子餅つき大会」には100名の参加者がカマドづくりから始めて、薪を燃やしての挑戦!生活技術を身につける良い機会にもなったようです。

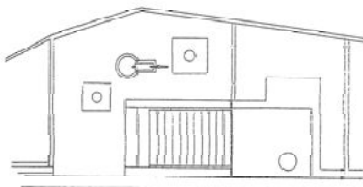
泉谷さんは、学校も週5日制になるなかで、PTAのみなさんにも町会に入っていただいて、行事に参加してほしいと呼びかけていらっしゃいます。(取材:野藪、青山)



階段の位置を変更

池中井戸広場……工事に向けて実施設計進む

池中井戸広場は、現在、公園緑地課で実施設計が行われています。詳しい検討の結果、道路からグランドにあがる階段の位置が変更されます。これまでは道路から斜めに入るように計画していましたが、施工の都合から道路に並行して階段を設置することになりました。この階段についてはバリアフリー対策としてスロープの設置を望む意見があり検討しましたが、多くの木を切らないと実現できないことと、グランド側から入れるので今回は残念ながら対応できません。この変更により、階段の下に少しだけ大きな広場ができます。そこで当初5tだった貯水槽を20tにしました。初期消火用水の確保からはうれしい変更となります。井戸広場は、1月中に着工し、3月完成の予定です。(小野)



井戸はここだよ……民間井戸の標識デザイン募集

防災まちづくりの会で進める民間井戸が、地域のみなさんにも親しんでいただけるような素敵な標識を考えてください。

- 参加資格: 特になし。
- 締め切り: 平成11年2月17日(当日消印有効)
- 審査・賞品: 池袋本町防災まちづくりの会で審査。実施案を1つ選定。実施作品には賞品あり。
- 応募様式: 30cm×30cm程度の図案を画用紙等を書いて提出。色は自由。ただし、看板の作り方によっては単色になる場合もあり。
- 標識の作り方: 今の所、次の2つのタイプを検

討中。場所に応じて、いろいろな使い方を予定。

- ①看板タイプ……金属の板などに印刷。大きさは30cm×30cm程度。
- ②敷石タイプ……タイルに焼き付けて地面に敷設。(参考: 池二小の井戸広場の絵タイル) 大きさは30cm×30cm。

●宛て先・問い合わせ:

(財)豊島区街づくり公社 民間井戸サイン募集係
豊島区東池袋1-20-10 区民センター3階
電話 3981-1683